令和6年度第1回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招集日	令和6年8月5日(月)	
開催場所	蓮田市役所 303・304・305会議室	
開催日時	開会 令和6年8月5日(月)午後 2時00分 閉会 令和6年8月5日(月)午後 3時20分	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席・欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席・欠席
	委 員 石 井 文 枝	出席・欠席
	委 員 光 野 春 生	出席・欠席
	委 員 山 田 慎 太 郎	出席・欠席
	委 員 加 藤 智 子	出席・欠席
	委 員 田 口 桐 子	出席・欠席
	委 員 寺 澤 亜 希 子	出席・欠席
	委 員 馬 場 干 児	出席・欠席
	委 員 松 澤 行 男	出席・欠席
出席職員 (策定委員、 事務局)	【蓮田市総合振興計画策定委員】 蓮 田 市 長 山 口 京 子 副 市 長 加 藤 繁 総 合 政 策 部 長 金 子 克 明 総 務 部 長 高 橋 司 環 境 経 済 部 長 初 野 尚 久 健 康 福 祉 部 長 森 上 和 代 都 市 整 備 部 長 高 橋 宏 治 上 下 水 道 部 長 小 山 猛 会 計 管 理 者 齋 藤 照 雄 消 防 長 小 林 裕 二 学 校 教 育 部 長 安 田 修 一	議 会 事 務 局 長 飛 田 康 裕 監 査 委 員 事 務 局 長 高 崎 達 也 総 務 部 参 事 兼 収 納 課 長 森 上 吾 郎 環 境 経 済 部 参 事 兼 み どり 環 境 課 町 井 孝 行 生 涯 学 習 部 参 事 兼 社 会 教 育 課 長 横 田 修 子 【事務局】 政 策 調 整 課 長 小 嶋 抗 政 策 調 整 課 副 主 幹 細 沼 誠 政 策 調 整 課 主 事 西 谷 美 香
傍聴者	2名	
1 開会	開会宣言	
2 委嘱式	《山口市長より、委嘱書の交付》	
・市長挨拶	《山口市長より挨拶》	

3 議題

(政策調整課副主幹)

本来であれば、蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項の規定により、会議を総理する会長が議長となるところでございますが、会議初回ということで、会長が決まっておりません。会長が選出されるまでの間、会議の進行を引き続き私のほうで務めさせていただきます。

・定足数の確認

(委員10名全員出席のため、会議の成立)

委員自己紹介

(略)

策定委員及び事務局職員自己紹介

(略)

(1) 会長及び副会長の選出

(政策調整課副主幹)

それでは、次第の3、議題の(1)会長、副会長の選出についてに移ります。選出につきましては、蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第1項に、審議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によって定める、と規定されております。

選出につきましてはいかがでしょうか。何かご意見等がございましたらお願いいたします。

(石井委員)

事務局としての案があればお聞きしたいと思います。

(政策調整課副主幹)

ただいま石井委員から事務局案はないかというご意見がございました。事務局は、案の用意があれば説明をお願いします。

(政策調整課長)

事務局といたしましては、前回、会長を務めていただきました、中山和久委員に引き続き会長をお願いしたいと考えております。

それから副会長には前回副会長を務めていただきました、奥沢信男委員。このお二人をお願いしたいと考えております。

(政策調整課副主幹)

ただ今、事務局案の説明がございましたが、これについて何かご意見やご質問等はございますか。

無いようでしたら、事務局案でございます、会長を中山和久様に、副会長を奥沢信男様にお願いすることにご異議ございませんか。

《異議なしの声》

それでは、当審議会の会長を中山和久様、副会長を奥沢信男様にお願いしたいと存じます。ご協力ありがとうございました。中山会長、奥沢副会長よろしくお願いいたします。

ここで、席の移動と打合せの時間を取らせていただきますので、少々の休憩とさせていただきたいと存じます。

……………[休憩]……………

(政策調整課副主幹)

お待たせいたしました。議事を再開させていただきます。

再開に先立ちまして、中山会長と奥沢副会長にご挨拶を頂戴したいと存じます。

《中山会長より挨拶》

《奥沢副会長より挨拶》

ありがとうございました。

蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項には、「会長は、会議を総理し、」と規定されておりますので、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。よろしく申し上げます。

《議長より傍聴者の確認》

(傍聴者2名)

《会議公開の審議》

(会議公開につき、傍聴者入場、資料配付、注意事項の説明)

(議長)

それでは、これより議題(2)に入りたいと思います。本日の議題である「蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について」を審議いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

《事務局から資料2について説明》

・傍聴者の確認

(2) 蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について

(議長)

ただいま事務局から蓮田市第5次総合振興計画の進行管理についての説明がありました。ご質問・ご意見等がございましたら発言をお願いいたします。

(奥沢副会長)

資料2の97ページ「産業基盤整備事業」について、事務局から説明があった中で市街化区域に編入し、組合の設立認可を受けたということで、事実上完成したと言えるだろうと思います。市街化区域に編入するというのは相当な調整があるのですけれども、たくさん関係課が一体となって調整をされたということだと思います。大変ご苦労様でした。これからの蓮田市の財政等に大きく寄与するのではないかと思います。質問なのですが、これからの予定について、実際に企業等が立地してくるのはいつ頃になるのでしょうか。

(都市整備部長)

今後の進捗を含めた企業立地の想定についてお話させていただきます。令和6年5月17日に高虫西部地区は市街化区域に編入し、土地区画整理組合の設立認可を受けております。5月27日に組合総会を開催し、7月16日に仮換地の指定を受けております。現在はすでに準備工事に着手しておりまして、8月の中旬には造成工事を始めとする本工事に入っていく予定となります。今後、概ね3年半から4年の造成期間と企業立地に向けた手続き面の調整を行いますが、事業の特性上、造成を完了した土地から順次、土地利用に向けた作業を行います。企業立地の選定は、土地区画整理組合の業務代行者であるエム・ケー蓮田プロジェクト株式会社が担うこととなっております。なお、企業立地につきましては、最も早い区画の造成工事の完了が令和9年度を予想しておりますので、それ以降、順次、企業の立地に関する手続きが始まるものと考えております。また、高虫西部地区については、市街化編入の際、用途地域を工業地域に定め、併せて地区計画の条例化を策定しておりますので、基本的には住工分離に根ざした工業物流を中心とした産業団地を形成していくと予想しております。

(松澤委員)

資料3の達成度について、Aが24個、Eが22個となっています。目標設定はこのまま次の年度に持ち越されるのでしょうか。目標設定を下げたり、上げたりということをやらないと来年も同じような評価になってしまうのではないのでしょうか。

(政策調整課長)

目標値については、総合振興計画の中で既に確定しているもので、毎年変えるということはありません。現状値については、単年で評価するものと、累積で評価するものがございます。性質によって評価方法が異なるものとなっております。

(寺澤委員)

私の住んでいる平野地区は今高虫の整備によって盛り上がっていますが、他の地区に比べて、人に対する政策が少ないと感じています。平野地区には公園がありません。工業団地化に伴い、公園が整備されると聞いておりますが、その頃私は何歳になっているのだろう、杖をついて散歩しているかもしれない、公園にすら行けなくなっているのではないかと考えています。というのも、私が子育てをしているとき、公園がなくて本当に困ったんですね。資料にある、公園の設備を老朽化に伴い新しくしましたという内容を見てうらやましい気持ちになりました。大きい公園でなくても、人が集える場所があるといいなと思いました。

(環境経済部参事兼みどり環境課長)

平野地区に公園を新設するという計画は今のところございません。住宅団地の中に簡易児童遊園地という遊具が置いてある広場などがあるのみとなっております。市街地の公園も遊具を新しくできないなどの実情がありまして、蓮田市全体として何とかしなければいけない、というところまできているのが事実でございます。市街化調整区域ということで、なかなか公園整備が難しいですが、高虫工業団地の中に公園がいくつかございます。これからの話にはなるのですが、既存の簡易児童遊園地の遊具も更新していくことなどを考えていきたいと思っております。

(山田委員)

資料3の4ページ「小・中学校校舎及び体育館におけるトイレの洋式化率」について、令和4年度で50%、令和9年度までに70%ということで年間約5%ずつ推移していれば問題ないというところですが、令和5年度末時点で56.7%というのは概ね順調という認識でよろしいでしょうか。

(学校教育部長)

現在、校舎改修とトイレの改修を計画的に進めているところですが、目標値の令和9年度の70%に達するように、現時点では進めることができているという認識です。

(山田委員)

前向きに早く動いてくださっていると思うので、引き続きよろしくお願ひします。

(石井委員)

今一番気になっているのは、この猛暑です。学校施設や教室などには冷房が入るようになって本当に良かったと思いますが、外での活動や体育館での活動がとても心配なので、これに対する対策などは何かございますでしょうか。

(学校教育部長)

非常に暑い日が続いております、なかなか子どもたちの活動が外でできないという状況が起きているのが実情でございます。まず、いわゆる熱中症指数WBG T値が31を超えるような状況である場合は、基本的に活動は実施しない、また、夏季休業中で中学校では部活動などを行っているのですが、体育館や外での活動中に基準を超えた場合は、空調が効いている室内で、活動は制限されてしまうのですがミーティングや筋力トレーニングなどに切り替えて活動をすることになっております。体育館の冷房につきましては、現在、市内小・中学校の体育館には固定した冷房の設置はございませんが、この夏に、市内の中学校1校の体育館に移動式の大型スポットクーラー2台を導入しました。活動の最中に使用しながら、現状どれくらいの効果があるのかを含めて確認しているところでございます。現地を確認したのですが、かなり大型のクーラーでして、冷たい風が吹き出してきました。活動中の子どもたちに風があたり、風がない状況と比べると体を動かすことはできますが、体育館全体がひんやりするまでには至っていません。引き続き、体育館の活動についても熱中症の指数計を参考にしながら活動していくということになると思います。

(議長)

なかなか大変ですが、着実にチャレンジしているところがうれしく思いました。

(田口委員)

特産品の発信ということでお話がございましたが、ふるさと納税の関係で、私共も、みそのセットや手作りジャムのセットなどを出させていただいております。毎年一定の注文を頂いているという状況でございます。しばらく特産品関係に関してはコロナの影響もあって身動きがとりづらかったところですが、経済活動を通常に戻している状況の中で、各団体においても、特産品づくりの動きが活発化してきています。私もいろいろな団体からお声がけいただき、特産品づくりに関する会議

に参加している状況でございます。市のブランド推進協議会の委員や、商工会のまちづくり委員などもさせていただいております。活発に動いて、あちこちで声が上がっているというのはすごく好ましいと思う一方で、バラバラしていると感じるところがあります。協力しながら、一丸となって進めていけるといいのかなと思っております。何かこれに力を入れていこうというものが、梨に続いて出てくるといいのかなと農業分野でも頑張っていこうと思っているところです。特産品づくりについて、民間との協力などの動きはございますか。

(環境経済部長)

コロナ渦の影響で、人が集まるということがなかなかできない中、蓮田の特産品というものを数年検討することができなかったという実情がございます。今年度は蓮田ブランド推進協議会を開催し、商工や農業の各方面の方に集まらせていただいております。懸垂幕で掲げている「とくいなかNo.1」というキャッチフレーズもこの協議会から生まれました。この協議会の中で、蓮田の特産品、ブランドとなる蓮田を特徴づけるものを作っていこうということで活動を開始したところでございます。特産品というものは時間をかけてでないとは出てこないということもありますので、地道に会議を続けまして、蓮田のブランドを生み出していきたいと考えております。

(馬場委員)

資料2の72ページ「木造住宅耐震診断・耐震改修補助事業」について、今年早々に起こった能登半島地震では大変な被害がありました。木造住宅の耐震診断は推進されているのか心配しています。令和5年度当初予算で400千円のところ、決算額が0円ということでほとんど活動されていないのかと感じています。改定されて配布された蓮田市のハザードマップでは、震度6強を想定されていますが、震度6強というのは旧耐震では対応できないような地震の大きさになります。それに対して、新耐震に向けての住宅の耐震対策を推進していく必要があるだろうと考えています。災害が迫っている心配がある中、今後どのように推進し、取り組んでいくのかお聞きしたいです。

(都市整備部長)

現在の旧耐震を対象とした耐震診断補助、耐震改修補助につきましては昭和56年5月31日以前の建物が対象となります。この制度の活用状況でございますが、令和4年度は耐震診断補助が1件、耐震改修補助は0件でした。令和5年度についてはどちらも該当はありませんでした。理由につきましては、相談はあるのですが、制度を活用される方がいないという状況です。補助制度の活用をご検討いただいた方のその後の状

況を確認すると、建て替えの対応を取られているということが多いようです。それを踏まえ、今後の制度活用についてですが、新耐震に対する補助の導入を検討している、実施を考えている自治体があるということで、これについて蓮田市でも研究を行っているところです。蓮田市につきましては、建て替えによる対応を取られる方が多い中で、新しい制度を導入することで、こういったニーズ感があるかということをおぼろげに掴むことが大切と思っておりますので、調査をしたうえで今後の対応を考えていきます。

(馬場委員)

私は蓮田駅前住宅に住んでおります。あれは新耐震前の建物です。今、住民で話題になっているのは、耐震診断を受けるべきか、受けないかということです。近くの尾山台の公団では、耐震診断を受け新耐震対応で問題ないだろうという結果だと聞いています。診断を受けるにはお金がかかり、およそ350戸ある蓮田駅前住宅の診断を受けると約200万円かかると聞きました。コンクリートの耐用年数は45年を一つの基準とされています。新耐震前に建てられた建物はコンクリートの耐用年数近く経つこととなります。この補助制度は木造住宅を対象としていますが、集合住宅などへの補助について、今後検討していく必要があると思っております。

(議長)

今後検討いただくということでよろしいでしょうか。

(都市整備部長)

はい。

(光野委員)

2点お伺いさせていただきます。

まず1点目が空き家対策についてです。地方は空き家問題というのが深刻な問題となってきています。蓮田市は恵まれた方だと認識しているのですが、資料3の10ページで「適正管理されていない空き家率」が42%ということで、いったん空き家になってしまうと、適正な管理をしていくのが難しいという問題があると認識しております。先般、第1回空き家対策協議会が開催され、傍聴させていただきました。非常に熱心に議論され、感銘を受けた次第です。その中で、空き家にならないような未然の防止策や、啓発活動が重要ではないかという議論がありました。これから計画を策定されていく段だと認識しておりますが、現時点での対策としてお考えのことはおありでしょうか。

2点目は行政DXの部分です。DXについては、総合振興計画の下位

計画ということで位置づけされていると認識しておりますが、今後高虫の工業団地への企業立地、企業誘致を進めていくにあたっては、行政の効率化というのは欠かせない部分かと認識しております。埼玉県では電子契約をほぼ進めている状況にあるかと思いますが、市町村単位でいうとまだ進んでいないというのが現状かと思っております。いわゆる行政DXの部分で何か進捗していること、もしくは今後の予定があれば教えてください。

(都市整備部長)

空き家対策の現状の取り組みについてですが、空き家の状況になっている場合、個々のご家庭に所有権、あるいは貸与している方をお調べして、適正管理をお願いする通知文をお出ししています。また、新しい取り組みとして、総務部と協力して納税通知書に適正管理に関する事とすることで空き家バンクのご案内を入れさせていただいております。それから協議会については、今年度発足ということで、現在、基本計画の策定を今年度末を目標に進めているところです。

(総合政策部長)

行政DXについてお答えします。先ほどお話があった電子契約については、ご指摘のとおりまだ進んでいないのですが、電子入札については積極的に進めているところです。先日の行政改革推進委員会でもお話しさせていただきましたが、市の規程の中で電子入札すべき内容のものはすべて電子入札で実施している状況でございます。行政DXの進捗状況につきましては、市民の皆様の利便性の向上という観点で、窓口支援システムの導入に向け調整を進めています。窓口にお越しになったお客様の申請書類の4項目について、マイナンバーカードをお持ちいただくと記入せずに自動的に反映される仕組みとなっております。また、手数料を優先的に、並行して使用料についてもキャッシュレス化を進めていく予定です。

(加藤委員)

主婦目線、消費者目線から、蓮田には買い物する場所がないなと感じています。大きくてもドン・キホーテくらいしかないので、ショッピングセンターまではいかなくても、大型のスーパーなどを誘致していただければと思っています。蓮田の道路は狭いので難しいかと思うのですが、買い物できる場所を増やしてほしいと思っています。

また、資料2の104ページ「特産品振興事業」の内容に通じるかもしれないのですが、なくなってしまった蓮田の梨の選果場の横に農産直売所のようなものがありました。2年以上閉鎖している状況です。以前はそこで安く新鮮な梨を買うことができたので、蓮田の人はそこに買

いに行っていることが多かったのですが、今は一番近くて菖蒲の農協まで買いに行かないといけないと聞きました。蓮田駅前ロータリーや西口行政センター、公民館などで梨だけではなく野菜や果物、市の特産品などを販売していただけるといいなと思います。

(環境経済部長)

蓮田市へショッピングセンターをとというのは、7月31日に行われた子ども議会でも同じ質問をいただき、その時にもご回答を差し上げたところです。ただいま委員からも道の狭さについてお話いただきましたが、まさにそれが理由のひとつにあります。大型のショッピングセンター等が出来ると、渋滞や騒音などの問題が起きます。今のドン・キホーテ、元の長崎屋のときも真ん中の道路をかなり交渉して広げたという事例もございます。大きな敷地をつかうということもあり、蓮田の場合、市街化区域に集積するということを目指しておりますので、市街化区域の中をどうするのかという問題もございます。そのため、現在は駅周辺の商店街への支援に力を入れているところでございます。今は商店街への支援、並行して、大型ショッピングセンターについても情報収集していきたいと思っております。

また、梨の選果場について、菖蒲の方へ統合されたことで、根金の選果場はなくなってしまいました。現在、蓮田サービスエリア上り線での販売や、浦和の競馬場でPRなどを行っています。月に1回などになるかもしれませんが、駅周辺でテントなどを使って何かできないか検討しているところでございます。定着した場所で梨などの蓮田の特産品をお買い求めいただけるところまでは至っておりませんが、そういったことができるように努力をしますので長い目で見ていただければと思います。

(議長)

選果場が移ってしまったのは残念ではありますが、代わって駅前で何かできればいいかなと思いますので、よろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。

(松澤委員)

私が一番興味ある基本政策4の中の「産業の創出支援」というのが政策の件数が非常に少なく感じます。この項目を手厚くしていただければ、税収にもかなりつながると考えます。資料3の9ページの「創業支援事業による本市内での起業数」とありますが、具体的にどのような企業が新しく発生、誘致に成功しているのでしょうか。

(環境経済部長)

こちらは、事業を起こされる方に対して支援しているものです。大手の会社を呼び込むなどということではないものになります。個人でお店を始めるといようなものに対する支援でございます。

(松澤委員)

産業創出ということですが、蓮田市の売りは何ですか。都内に勤めていたころ、都内の人は蓮田がどこにあるのか、ぱっと出てこないんですね。これだから蓮田っていうのがあまり理解されていないと感じています。企業側のニーズと市の売りが一致したときに、はじめて話が進むわけです。企業が魅力を感じるようなところはあるのでしょうか。

(議長)

企業誘致についてどのようなメリットを蓮田市は持っているのでしょうか。

(都市整備部長)

高虫西部地区が市街化編入をして、どのような考え方で整備を進めてきたかということ为例に説明させていただきます。まず1点目は、産業を創出することで豊かな自治体にするということについては、今委員さんからお話しがあったとおりですが、非常に動線が優れている点です。具体的には検討を始めた時期というのが圏央道の整備が進んでおり、市の南部の方では東北道がありスマートICの整備を検討し進めており、24年にはハーフではございますが一部出来ました。現在もフル化に向けて取り組みを進めているところです。こうした優れた動線があり、企業を誘致できる環境を活かさない手はないということで進めてきたということがございます。そのうえで、他の施策にも出ているとおり、自然との調和ということがございましたので、産業団地をつくっていくときについても、いわゆる地区計画制度を活用して緩衝帯などを設けて周辺環境と調和した産業団地をつくっていくということで進めてきたことがございます。今後、企業誘致についてはまだまだ進めていこうと考えております。

(議長)

確かに、圏央道、東北道を活かさない手はないと思いますので、そこに興味を持ってくださる企業にぜひ来てもらいたいと思います。

(馬場委員)

資料2の38ページ「外国語指導助手招致事業」について、蓮田市というのは小・中学校の教育レベルが県内の小・中学校の中でも高いということで、私もプライドを持っています。今6名の方がALTでおいでにな

っているわけですが、これで十分なのでしょうか。

(学校教育部長)

現在、ALTについては5名を市内の中学校5校に各1名ずつ配置しています。1名につきましては小学校を中心に回っています。中学校に配置されたALTにつきましても、曜日によっては小学校にも回りまして、学校の規模が大小ございますので時間を割り振りながら各学校を回っているというような状況です。

(馬場委員)

これからの国際化の時代に向けて蓮田市の英語のレベルを高めていかないといけないという状況で、約24,000千円という予算は少なく感じますがいかがでしょうか。

(学校教育部長)

現在のところ、たくさんALTが入ってくることによって十分活用できるかというのは非常に難しいところです。英語の授業で生の英語で会話をするような場面もございますし、また、知識の定着ということで文法やライティング、聞き取りといったところも重要視していかなければいけません。もちろん会話を重要視はしているところではございますが、現在のところバランスよく子どもたちが英語の教育が受けられるようにこのような形で実施しているところでございます。

(馬場委員)

ぜひ、外国語教育については推進して行ってください。

(学校教育部長)

ありがとうございます。

(議長)

すべての中学校に配置しているということで、充実してきているのではないかと思います。

他に何かございますでしょうか。

(質問なし)

本日は活発な意見交換をしていただきまして、ありがとうございます。委員の皆様からの意見を踏まえ、執行部は、引き続き第5次総合振興計画の着実な実施にご努力いただきますようお願いいたします。

これで、本日の審議会を終了いたします。会議の進行にご協力をいた

4 その他	だきまして、ありがとうございました。議事進行を事務局にお返しします。 (政策調整課副主幹) 中山会長、ありがとうございました。続きまして、次第の3「その他」に移ります。 事務局からご連絡がございます。政策調整課長より申し上げます。 《事務局より連絡事項》
5 閉会	(政策調整課副主幹) 続きまして、次第の5 閉会でございます。 奥沢副会長から閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。 奥沢副会長よろしく申し上げます。 《奥沢副会長より閉会のあいさつ》 (総合政策部副主幹) ありがとうございました。 以上で令和6年度 第1回蓮田市総合振興計画審議会を全て終了いたします。ありがとうございました。